

# 図画工作、美術

## 児童生徒が感性や想像力を働かせ、自分なりの意味や価値をつくりだす授業づくり

### 授業づくりのポイント

※数字は学習の例と対応

- ① 各学年段階における指導事項や内容の取扱いと指導上の配慮事項及び学習経験を踏まえ、育成を目指す資質・能力が系統的に身に付くように、指導計画等を作成する。
- ② 児童生徒が造形を豊かに捉え、実感を伴いながら理解したり試行錯誤したりできるように、実物を見たり実際に触れたりする時間や場の設定を工夫する。
- ③ 児童生徒の学習改善や教師の指導改善に生かすことができるように、内容や時間のまとまりを見通しながら、指導に生かす評価と記録に残す評価の場を精選し、児童生徒の学習活動の過程を丁寧に捉える。
- ④ 児童生徒が表したいことや主題を基に、表現したり鑑賞したりできるように、発想や構想と鑑賞の学習の双方に働く中心となる考えを明確にする。

### 資質・能力の育成に向けた鑑賞における見方や感じ方を深める学習の例

#### 中学校第2学年

題材名 生活の中に息づく伝統工芸  
「作品や美術文化などの鑑賞」

#### ◇指導事項

「B鑑賞」イ(1)、〔共通事項〕ア、イ

#### ◇題材の目標（一部）

- 形や色彩、材質など造形的な特徴を基に、全体のイメージで捉えることを理解する。 [知識]
- 受け継がれてきた伝統工芸品の表現の特質などから、伝統や文化のよさを感じ取り、美術文化の継承と創造について考え、見方や感じ方を深める。

[思考力、判断力、表現力等]

#### ◇題材の主な学習活動

##### [第1時]

地域の伝統工芸品を鑑賞し、造形的な視点を基に全体のイメージで捉え、作品の造形的な特徴から感じ取ったことや考えたことをまとめる。

##### [第2時]

他地域の伝統工芸品を鑑賞し、受け継がれてきた表現の特質などから、よさや美しさ、美術文化などについて考えたことをまとめる。



学校教育において生徒と美術文化を出会わせ、その意味や役割を理解させることや大切にしていこうとする態度を養うことが、美術文化の継承と創造について考えることや自らの人生をより充実したものにすることがつながります。

指導計画作成の際に、指導事項と併せて次のことを確認します。

- ① 前の学年（学年によっては、園や小学校等も含めて）までの表現・鑑賞の学習経験等及び内容や指導事項との相違箇所
- ② 他教科等との関連（伝統文化に関わる単元・題材等）

#### ◇本時の主な学習活動

1 地域の伝統工芸品である漆器について形や色彩、材料などを視点を鑑賞し、よさや造形的な特徴について気付いたことを1人1台端末に入力する。

温かさを感じるのはなぜだろう。



可能な限り、生徒が実物と直接向き合えるようにすることで、よさや美しさなどの造形的な特徴について実感を伴って捉えることができます。

2 鑑賞して気付いたよさや造形的な特徴について話し合う。

S1: 給食のプラスチックのお椀と比べて温かさを感じました。素材が木だからではないかと思いました。

S2: 手に馴染む感触からも温かさを感じる気がしました。

私は、器に描かれている模様や桜や梅などの植物が多いことも気に入りました。

T: 1年生の学習で日本の伝統文様を鑑賞しましたが、共通点はありませんか。

S1: 青海波や唐草文様など自然に関係した文様が多かったので、それが共通していると思います。

S2: 日々使うものに美しさを求めることも共通していると思いました。

鑑賞活動の際には、指導事項を踏まえ、着目させたい造形の要素を示したり、既習内容や経験したこと等を想起させたりします。さらに、対話等を通して、生徒に新たな見方や感じ方に気付かせたり、多くの人が共通に感じる客観的な見方や捉え方について考えさせたりすることが大切です。

3 本時の振り返りを1人1台端末に入力する。

<振り返りの例> 鑑賞した漆器の形や色、模様の美しさだけでなく、材質や手に馴染む感触から温かさが感じられた。自然の豊かさなど、地域のよさが活かされている漆器を大切にしていきたい。



#### ◇評価規準

形や色彩、材質など造形的な特徴を基に全体のイメージで捉えることを理解している。

【知識】（発言の内容・ワークシート）